



# 水 稲 管 理 情 報

## 育 苗 編

**「5つの1か月対策」**  
**育苗日数は1か月以内！**

令和2年4月  
J A 志 賀 会  
能登南部営農推進協議会

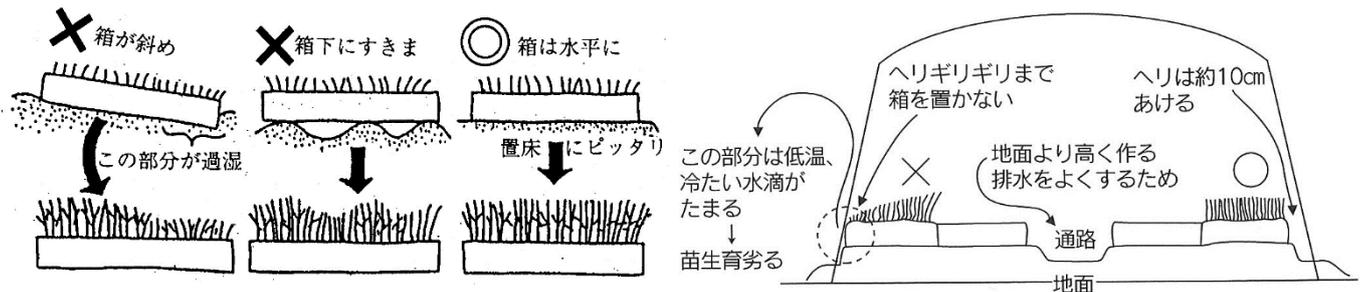
昔から「苗半作」といわれるように、苗づくりの善し悪しはその年の収量や品質に影響します。  
良い苗とは「がっちりとした太い苗」です。決して「長い苗」ではありません。

苗の生育段階によって、管理が異なります。良い苗を作るためにも、生長に合わせて適切な管理をしましょう！

### 1 育苗ハウスの準備

#### ◆ 苗箱の並べ方1つで苗の揃いが変わります。

- ・ハウス内の地面に傾きや凸凹があると苗が不揃いになるため、地面を平にならして下さい。
- ・苗箱からの排水が妨げられると病害が発生しやすくなるため、地面にシートは原則敷かないで下さい。
- ・温暖な日中（できれば風の無い午前中）に苗箱をハウス内に隙間なく並べましょう。ハウスのヘリ（外縁）は低温で苗が不揃いなるので、10cm程度あけて下さい。
- ・**ハウスに並べた当日は原則、かん水しないで下さい。**過度に乾燥している場合のみ、軽くかん水する程度にして下さい。この時期の水分過剰は病害の原因となります。
- ・被覆資材（シルバーポリ等）で覆い遮光し、資材の特徴に応じて管理して下さい。



【図1 苗箱の並べ方のポイント】

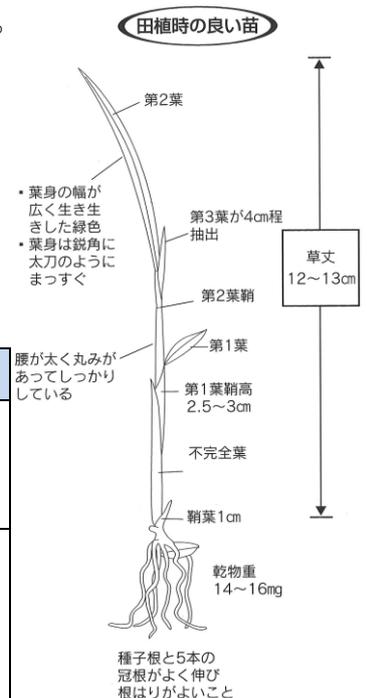
### 2 育苗期間の病害対策

ハウス内の温度管理の失敗により、ムレ苗の発生が多くみられます。急激な温度変化が起きないように、換気や温度管理に努めて下さい。

- ① 高温時（35℃以上）には換気し、高温・多湿条件にしないで下さい。
- ② 緑化期以降は、急激な温度変化や多湿条件でムレ苗が発生しやすくなります。日中は25℃以上、夜間は5℃以下にならないよう換気や保温に努めて下さい。

【表1 病害の原因と対策】

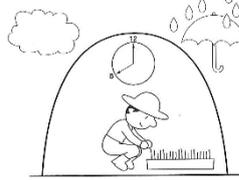
症状	病原菌	原因等	対策等	使用時期
白カビ 青カビ	リゾーブス菌 トリコデルマ菌	・育苗初期によく見られ、高温・過湿条件で発生する。 ・換気を十分に行い、土の表面が乾き始めるまでかん水しない。	ダコレート水和剤（2成分） 500倍液を500mL/箱かん注	は種時～緑化期（は種後14日以内）
赤カビ	フザリウム菌	・高温条件で発生しやすい。	タチガレエースM液剤（2成分） 500倍液を500mL/箱かん注	は種時又は発芽後
ムレ苗	ピシウム菌	・急激な温度変化によって発生 ・pH5前後の通気性のある床土を使用 ・低温時は保温資材をかける。 ・夜間冷えた次の日が晴天の場合は、早めにハウスを開ける。	タチガレエースM液剤（2成分） 500倍液を500mL/箱かん注後、寒冷紗等で遮光して蒸散を抑制する。	



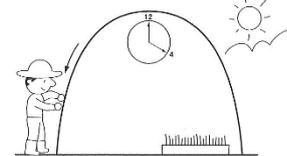
### 3 育苗管理について

#### ◆育苗初期(緑化期:3~4日間)【かん水を極力控える】

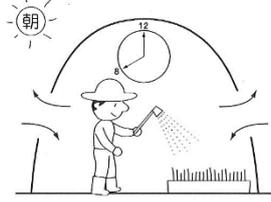
- ・第1葉の先端が見えて、葉が緑色となり、苗の高さが3cm程度となった時点で緑化とし、直ちに被覆資材を取り外して下さい。
- ・被覆資材のしわやヨレ、資材上部の水たまりは高温障害(葉焼け)の原因となります。

育苗初期(緑化期) (苗箱並べから3~4日間)	温度管理 (温度計は苗の高さの位置に設置する)	水管理
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     昼間: 20~25℃                      夜間: 15~20℃                 </div> <p>3~4日被覆(しゃ光のため)</p>  <p>(朝7~8時) 土の乾燥を見て、必要ならかん水。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     昼間: 20~25℃                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・晴れた日は高温(25℃以上)にならないよう換気する。</li> <li>・被覆資材が風でめくれないように注意。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     夜間: 15~20℃                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15℃を下回るときは十分に被覆し保温する。</li> <li>・霜注意報が出たときはストーブ等で加温。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <u>かん水は極力控える。</u></li> <li>・床土が極端に乾かない限りかん水しない。</li> <li>・過湿状態が続くと苗箱の温度が上がらず生育が遅れ、カビの発生を招く。</li> <li>・寒冷紗の上から水をやらない。</li> <li>✓ 覆土の持ち上がりがある場合は軽くかん水する。</li> </ul>

#### ◆育苗中期(硬化前期:8~10日間)【温度・湿度管理で病害防止】

硬化前期 (被覆除去8~10日間)	温度管理	水管理
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     昼間 15~20℃                      夜間 10~15℃                 </div>  <p>(夕方3~4時) ハウスを閉める</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     昼間: 15~20℃                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・晴れた日は朝から換気をする。(夜間の低温が予想される場合は、午後早めに閉める。)</li> <li>・換気する場合は、風が入らないよう風下側を開ける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     夜間: 10~15℃                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15℃以下に冷え込むときは被覆し保温に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ かん水は、床土の乾き具合を見て朝1回。</li> <li>✓ 夕方のかん水は控え、必要な場合は翌朝かん水する。</li> <li>✓ 雨や曇の日はかん水を控える。</li> </ul>

#### ◆育苗後期(硬化後期:田植前8~10日間)【外気に慣らして田植え準備】

硬化後期 (田植え前8~10日間)	温度管理	水管理
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     外気温にならす                 </div>  <p>(朝7~8時) 今日は晴れそう→水やりと換気</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     昼間: 15~20℃                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中はハウスを換気し外気温にならす(順化)。温度が上がりすぎる時はハウスの腰部も開ける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     夜間: 10~15℃                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植え4~5日前からは夜間も換気する。</li> <li>・ただし極端に冷え込む日は保温に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 毎朝たっぷり1回かん水する。</li> <li>✓ 苗箱の周辺部は乾きやすいので十分にかん水する。</li> <li>✓ 2回目のかん水が必要な場合は、午後3時までにはすませる。</li> </ul>

#### 令和2年春の農作業安全確認運動(3~5月)の実施について

<令和2年のテーマ>「見直そう 農業機械作業の安全対策」

1. 安全フレーム、シートベルト未装備のトラクターについて、安全フレーム等の追加装備やシートベルト・ヘルメットの着用を徹底。
2. トラクターへの灯火器設置等の促進。
3. 現場での農業機械の日常的・定期的な点検・整備の呼びかけ。



#### 「代かき後の濁水を河川へ流さないように努めましょう」

代かき後の濁水の河川への流出は、下流域の濁りの原因となります。河川への流出防止のために、代かき作業は浅水で行い、田植前に濁水を流す「強制落水」は行わないで下さい。